

しばた寺・びらきに参加して

R 6. 7. 18 於、加茂法話会

① お寺をもっと身近に感じる二日間、モノやことを通してお寺をもっと身近に感じていただけるイベント。13ヶ寺参加。

「あなたが触れる身近な体験から、またひとつ新しい物語が始まります」  
令和6年6月15日（土）16日（日） 会場・新発田寺町界隈

お寺での体験企画（ミチバタ説法、写経、坐禅、御詠歌、御祈禱、声明、寺びらきコンサート、ヨーガ、しばた朝顔ぼんぼりワークショップ、本堂開放、飲食のお店などなど）ミチバタ説法16日午前1回、午後2回  
諏訪神社（社びらき）蔵春閣（閣びらき）王紋酒造（蔵びらき）金升酒造（金升蔵びらき）菊水酒造（蔵見学）市役所札の辻広場（スマイルマルシェ）

② 「お寺は町の風景でしかない」

③ 今はお寺を開放しているいろいろな事を開催しているお寺が増えていく人が来なければ何もできない。お寺さんは皆さんが来られる参加されるのを待っている。

④ 「おほよそ菩提心は、いかがして一切衆生をして菩提心をおこさしめ、仏道に引導せまじと、ひまなく三業にいとむなり。いたづらに世間の欲樂をあたふるを、利益衆生とするにはあらず。」

〔『十二卷正法眼蔵』(四)「發菩提心」水野弥穂子校注 岩波文庫 一七八頁〕

⑤ 法施——講演前のご挨拶での箴言

⑥ 盛永老大師の愛語

「宗教を単なる葬送儀礼と考えないで下さい。なぜ、お坊さんがお葬式に立ち会うのか。それは、死というものが本当に私たちを生かすからなのです。死というものを真剣に考えることによって、初めて本当に私たちが生きることの尊さを学ぶことができるからなのです。だから、お坊さんがいろいろな人間の死に深く深く関わる行事をするのです。簡単に葬式坊主法事坊主という言葉だけで、坊さんをないがしろにすることは、自らを最も不幸にすることだと思つて、宗教を、それを説く僧侶をたつとぶ心を失わないで下さい。心の底から仏法は尊いもの。もし仏法に出会わなかったら、今の自分の幸せはないと確信している。だから自信をもって言いますよ。宗教ほど尊いものはない」

《盛永老大師 H1.3.22 松浜館での講演での最後のお言葉》

新潟市秋葉区田家 久昌寺 中野睦宗